

令和7年5月27日

各中学校長 様
各中学校英語科担当者 様

熊本県中学校英語教育研究会
会 長 林田 武海
(熊本市立富合中学校長)

第77回熊本県中学校英語弁論大会開催について

拝啓 貴校益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記大会を下記のとおり実施いたしますので、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 主 催 熊本県中学校英語教育研究会
後 援 読売新聞社
- 2 目 的 本大会は、県内中学生の英語による表現力の向上と、豊かな国際性の育成を目的とする。
なお、本大会は高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会の熊本県予選を兼ねる。
- 3 期 日 令和7年10月6日(月)
- 4 日 程 受付(開場) 12:30 開会 13:00 閉会 16:00(予定)
- 5 会 場 くまもと森都心プラザホール
〒860-0047 熊本市西区春日1丁目14番1号 Tel (096) 355-7400
- 6 参加資格
 - (1) 熊本県内の中学校に在籍する生徒。
 - (2) 参加人数は、一校から1名とする。
 - (3) ただし、次の項目に該当する場合には、参加は認められない。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏(※)に居住した者。
 - (b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6ヶ月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
 - (c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(※)出身の者がいる場合。
 - (d) 過去に本大会の中央大会にて1位～3位に入賞した者。

(※)「英語圏」とは(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は高円宮杯ホームページ(<https://jnsafund.org>)を参照のこと。

* その他、個別のケースについては、事前に高円宮杯事務局にお問い合わせください。
Tel 03-3217-8393(平日13:00 - 18:00) E-mail takamado_general@jnsafund.org
- 7 担当責任者 熊本市立白川中学校 作本 亜子
(問い合わせ先) 〒862-0971 熊本市中央区大江3丁目1番地12
Tel 096-364-6181 Fax 096-364-6389
- 8 審査員 原則として、日本人2名、英語を母語とする人2名
- 9 審査方法 高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会に準ずる。
三部門(内容、英語力、表現)を100点満点とし、各審査員の採点合計をもとに各審査員が評価点のボード・ポイントを与え、順位を決定する。ボード・ポイント制とは、審査の公平性のため、審査委員がそれぞれ自分の素点の順位が高い生徒に対して、順に整数

点のボート・ポイントを与えなおす制度で、ボート・ポイントの最高得点は7点とし、最低点は1点となる。各審査委員の素点1位に7点、2位に6点、7位に1点のようにボート・ポイントを与えて、最後に全てのボート・ポイントを合計し、合計点の多い順に順位を決定する。

10 表彰 上位5位までとする。

1位～3位が中央大会(2025年11月26日～28日 有楽町よみうりホール)に参加する。

11 提出物 ※①～③をそろえて、期日までに提出のこと。

	提出物	媒体	形式	提出先
①	参加申込書	紙 ※参加申込書は、熊本県中学校英語教育研究会のホームページからダウンロードする。	職印入り	附属中学校 甲斐 旭
②	参加申込	Googleフォーム	職印なし	附属中学校 甲斐 旭
③	原稿	Googleフォーム	PDF A4サイズ縦置き1枚	附属中学校 甲斐 旭

12 申込先

熊本大学教育学部附属中学校 甲斐 旭
〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5-12 Tel 096-355-0375
E-mail kai@educ.kumamoto-u.ac.jp

13 申込締切 令和7年9月4日(木) 17時必着とする。 ※締切後の申込みは、一切受け付けない。

14 応募について

- (1) 各学校で、参加生徒が上記6に示している参加資格に該当することを確認し、学校長の職印を押印の上、上記の申込先に提出(郵送)する。
- (2) 参加申込は、Googleフォーム(gmailアカウントが必要)で送信する。原稿PDFも添付する。申し込み後も、担当者から申込者へ電子メールで送信される、大会についての連絡事項を各自で確認すること。確認後は確認済みのメールを返信する。 ※参加申込は、熊本県中学校英語教育研究会のホームページ(<https://ws.higo.ed.jp/jhs-english/>)から行う。
- (3) 原稿の書式は、「A4用紙の縦置き1枚」とする。入力は半角で行い、論題、学校名、学年、生徒氏名を記入し、GoogleフォームでPDF形式で提出する。ファイル名は「弁論(〇〇中)」とする。なお、学校名、学年、生徒氏名については、英語表記とする。
※原稿は、必ずネイティブスピーカーにチェックを受ける。
- (4) 論題は自由である。弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現により明示する。

15 その他

- (1) 原稿は事前に審査員に送付する。よって、当日の原稿の差し替えは認められない。
- (2) 発表の際は、マイクは使用しない。また、計時を行い、制限時間(5分)と同時にベルを鳴らす。時間オーバーはボート・ポイントから減点となるので、ゆっくり話しても大丈夫な量に調整し、練習をする。
- (3) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。
- (4) 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむをえない場合は考慮する。
- (5) 暗唱を原則とし、原稿を持つことはできない。
- (6) 発表者は最後の「Thank you (for listening)」を言わない。
- (7) ホワイエと控室での飲食は可能。ただし、係の指示に従うこと。
- (8) 中央大会での決勝大会出場者のスピーチ動画、タイトル、氏名、学校名、学年がインターネット等を通じて公開されるため、同意いただけない場合、中央大会に進むことができません。

【担当理事】	作本 亜子 (熊本市立白川中学校)	甲斐 旭 (熊本大学教育学部附属中学校)
	西川 尚美 (熊本市立桜木中学校)	速水 幸紀 (熊本市立飽田中学校)
	古谷 綾香 (熊本市立桜木中学校)	梅北 かつら (大津町立大津中学校)
	小島 譲 (山鹿市立山鹿中学校)	式守 智子 (玉名市立有明中学校)
	杉田 沙也子 (宇城市立松橋中学校)	矢野 多希 (大津町立大津北中学校)